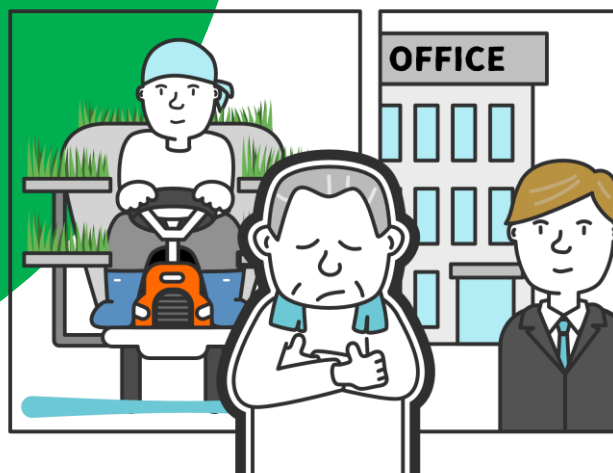


事業承継

農業者
の方へ

農業経営の
承継先のこと、
考えていますか。



～事業承継とは～

農地・機械などの目に見える有形資産と、
技術・人脈など目に見えない無形資産も
次の経営者に引き継ぐことです。

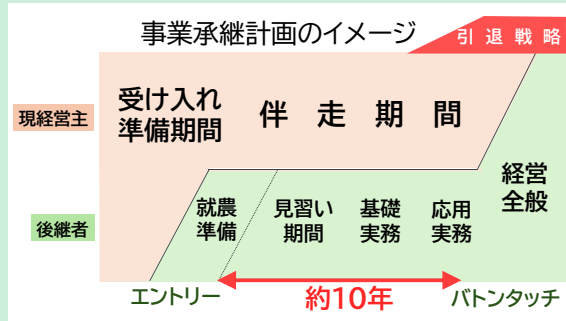


元気に働けている間に承継できるよう、
計画的に取り組むことが重要です

早めの準備で、成長する農業経営に

円滑な事業承継には通常 **5～10年かかる**といわれています。病気等で働けなくなってからではなく、**計画的に進めていく**ことが重要です。

後継者への**伴走期間**を十分持つことで、経営発展に結びつく事例が多くなっています。



※「農業経営の円滑な継承に向けて～進め方とポイント～」執筆：山本淳子（中央農業研究センター）より引用



事業承継を円滑にすすめるにはあなたの農業経営の内容を
誰に対してもわかりやすく説明できるように
しておくことも大切です。

まずは、①気持ちを整理し、②承継する有形・無形の資産の見える化を進めましょう。気持ちを整理を行う上で、第三者の意見を聞くことも大切です。



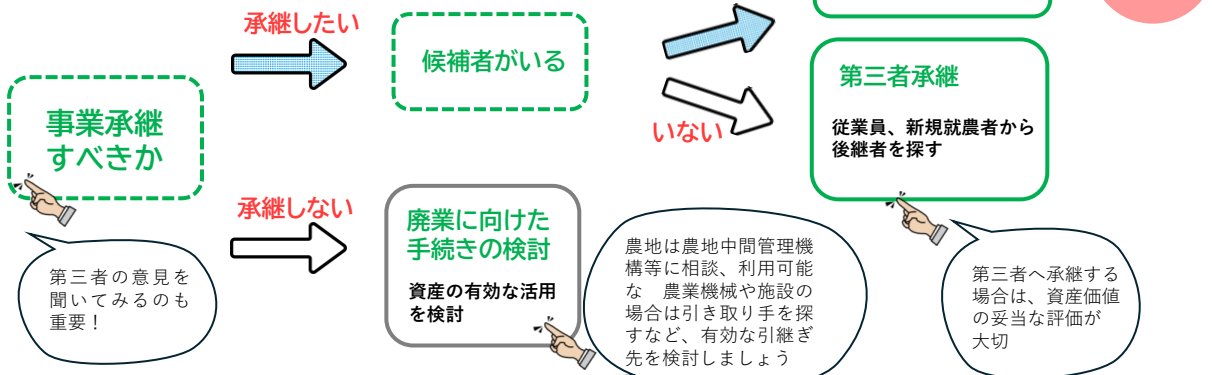
詳しくは
裏面へ





農業の経営を誰に承継したいのか確認から

これまで続けてきた農業をこれからも続けていくのか、それとも終わらせるのか自分の**気持ちを整理**することからスタート。

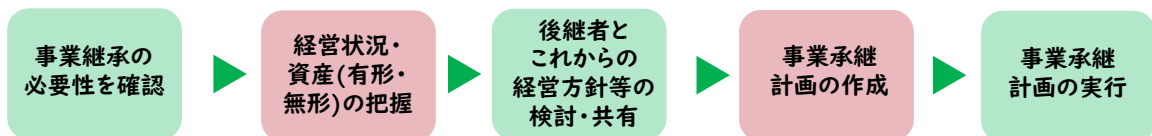


経営状況を見えるように整理

農地の場所や権利関係、経営収支の状況、取引先や取引状況、農作業のノウハウなど、**あなた以外の方にも経営内容がわかる(説明できる)よう**になっていますか？



円滑な事業承継に向けた流れ



第三者を交えての話し合いも検討！

家族の場合でも円滑な事業承継には、**後継者との話し合いが不可欠**です。「わかっているはず…」と考えず、まず話し合いましょう。

1対1では話しにくいと感じる場合は、信頼できる**第三者を交えて**話し合いの場を持つことも有効です。



参考資料

事業承継で活用できる支援制度

後継者
向け

経営発展支援事業 地域計画早期実現支援枠

■補助対象

- ①機械・施設等の修繕・移設・撤去等の経営資源の有効利用や、法人化、専門家活用等の円滑な経営移譲に向けた取組
- ②機械・施設等の導入

■補助対象

49歳以下の認定新規就農者、認定農業者

※事業の申請等は、お近くの市町村に最新の情報を確認の上、ご相談ください。



今の状況を
チェック！

円滑な事業承継のためのチェックリスト

Q: あなたの経営の将来の承継先を考えていますか

- ☐ 承継先に関して
- ☐ 承継時期に関して

Q: 経営状況をみえるように以下の整理ができていますか。

- ☐ 農地に関して
- ☐ 取引先に関して
- ☐ 財務内容に関して

事業承継
リーフレット
公開中



詳細は
こちら
から

千葉県農業者総合支援センター
TEL: 0800-800-1944